

特別支援教室だより

令和5年 12月 吉日
巡回拠点大杉東小学校
特別支援教室通信
令和5年度 No.8

【 今回のテーマ 】

何度注意されても、同じことを繰り返してしまう子

例：何度注意されても、友達とのやりとりのなかで気に入らないことがあると、叩いてしまう。



【 こんなことが考えられます 】

- なぜ注意されているのか、納得できていない。
- 自分の言動がダメだったということは分かっている、別の方法を考え出すことができない。
(例：友達のことを殴るのは間違っていると分かっている。でも、イライラした時の別の解消法が分からない。)
- 今、注意されていても次に同様の場面になると忘れてしまっている。また、似ている場面に応用できない。
(例：A君と喧嘩するのはダメだと言われたけれど、B君とするなどは言われていない。)

上記のようなことが考えられる場合、繰り返し注意しても、それは子供にとっての失敗経験となってしまう恐れがあり、何事に対しても「自分には無理だ。」と考えてしまったり、自信が低下してしまったりすることにつながってしまいます。

【 出来ることはなんでしょう 】

- 何に対して注意しているのかを明確に伝える。また、それ以外のことについては触れない。
例：×「イライラして友達を叩いてしまうのはいけないと何度も言っているでしょ。だいたいあなたは宿題も毎日言わないとやらないし…。」
○「イライラしているからって、友達を叩いたらいけないよ。」
- 別の解決方法を一緒に考える。
例：気持ちが落ち着くまで、その場を離れる。
何らかの言動をする前に、深呼吸をしながら6秒数える。
紙に自分のイライラした気持ちを書いて破いたり、強くこぶしを握ったりして、気持ちを発散する。
- まわりの大人が見通しをもって、事前にその場にあったふさわしい行動や注意してほしいことを伝えることで、注意される状況を回避させる。
例：「イライラしたら、A君や周りの人に伝えてそっとその場を離れてみようね。」
「ボールの取り合いになってしまったら、じゃんけんで順番を決めるといいよ。」

本校には5名の巡回指導教員がおります。「特別支援教室」について、ご質問がございましたらご連絡ください。

また、本校のホームページに「特別支援教室だより」のバックナンバーも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら 

